



小中高生ライフキャリア教育推進事業
益田版カタリ場
令和5年度 総合報告書

令和6年3月
一般社団法人豊かな暮らしラボトリー



1. 益田版カタリ場とは p.3-6
2. 令和5年度の実績 p.7-16
3. 総括 p.17-18



益田版カタリ場とは



1対1の対話を通して「これまでの人生、今の自分、そしてこれからどんな人でありたいか」
自分自身の生き方について考えることで、自分の「心に火を灯す」授業です。

ポイント その1

「本音」で話ができる時間

ポイント その2

語り合うテーマは
「これからどんな自分でありたいか」

仕掛け その1

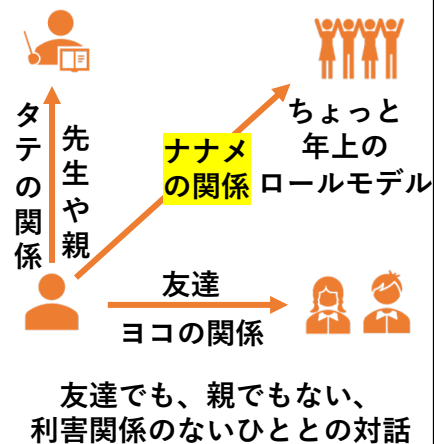
1対1の対話



友達に聞かれない
環境づくり

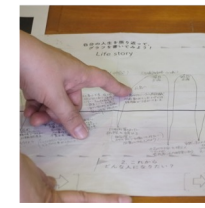
仕掛け その2

「ナナメ」の関係



カタリ場の流れ

(1)自己紹介 → (2)これまでの人生を紹介しあう



→ (3)今の自分や、これからの自分について語り合う



→ (4)これから頑張りたいことを言葉にする





生徒にとって益田版カタリ場とは

益田版カタリ場は「これからの目標」を考える時間ですが、生徒によって話したいテーマはそれぞれ違います。

だからこそ、この授業で最も大事にしていることは、

「私のことなのに、本気で向き合ってくれる人がある。自分は1人じゃないんだ。」と思える機会を届けることです。1人でもそのような存在がいることが、生徒が自分の可能性を信じて一歩踏み出す力に繋がります。



大人にとって益田版カタリ場とは

益田版カタリ場は、様々な背景を持った生徒と向き合い、目の前の生徒を受け入れて、可能性を信じ続けて、応援する時間です。

求められるコミュニケーションは、共感すること、寄り添うこと、一緒に考えること、時には踏み込んで「あったかいおせっかい」をすることなど、

関わり方に正解がないからこそ、多様な背景を持った生徒と対話する中で、大人自身も成長できる機会を作り出します。



小学校カタリ場

小学生 × 高校生



「思春期」を終えた高校生から、これから「思春期」の小学生へ

卒業前の高校3年生とこれから中学生の小学5-6年生によるカタリ場

小学生が、中学・高校生活の未来のイメージを描くことができる

カタリ場を受けてきた高校生は、学業生活を終える最後に、自分が語り手として、小学生に語る

中学校カタリ場

中学生 × 地域の大人



「挨拶」の関係から、「相談」の関係へ

中学校区の地域の大人と中学生によるカタリ場

公民館と連携をして、地域の担い手がカタリ場に参加

地域で会う機会があるからこそ、しっかり関係をつくり、その後の地域での活動づくりのきっかけへ

高校カタリ場

高校生 × 益田の大人



ちょっと年上の先輩と、ちょっと先の未来を描く

社会人の若手や大学生と高校生によるカタリ場

市内企業や公民館と連携をして、益田全域の大人がカタリ場に参加

住んでいる地区を超えて、多様な大人との繋がりづくり、活動づくりのきっかけへ



令和5年度の実績



令和5年度の実績

- ・ 市内14小学校 / 9中学校 / 4高校での実施

のべ303人

- ・ **221人**の地域の大人と、**760人**の中学生・高校生が対話

(中学校カタリ場、高校カタリ場)

のべ135人

- ・ **26人**の高校生と、**417人**の小学生が対話 (小学校カタリ場)

- ・ 総計: **1424人**の語り合い

(人口比率約3.2%/ 人口: 43,574人)

* 令和6年2月末時点

令和5年度の1年間で、

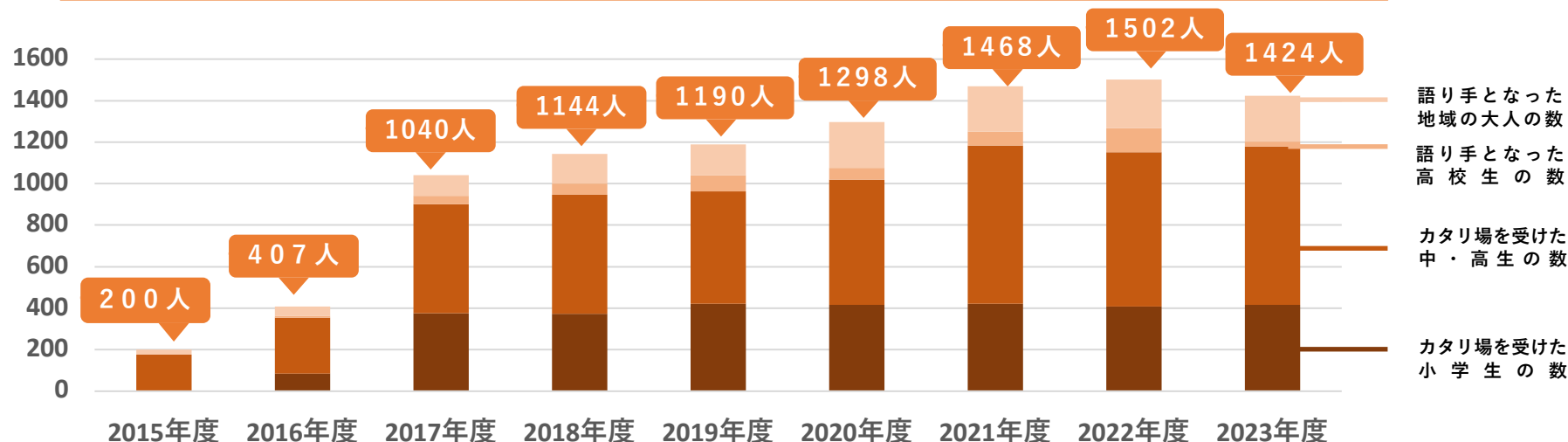
27小中高校での開催が実現

令和5年度の実施校一覧

No.	実施日	学校名	学年	対象児童/ 生徒の人数	語り手 (大人/高校生) の 参加者数
1	6月13日	高津中学校	3年生	60	20
2	6月14日	中西中学校	3年生	22	11
3	6月20日	小野中学校	1・2年生	19	11
4	7月7日	益田東中学校	3年生	80	29
5	9月4日	東陽中学校	3年生	47	26
6	9月20日	翔陽高校	1年生	30	19
7	9月26日	横田中学校	2年生	33	19
8	10月11日	匹見中学校	全学年	5	8
9	10月13日	益田中学校	2年生	133	30
10	10月24日	美都中学校	2年生	6	6
11	10月25日	益田高校	1年生	122	43
12	12月12日	明誠高校	1年生	94	36
13	12月14日	益田東高校	2年生	38	15
14	2月2日	桂平小学校	5・6年生	8	6
15	2月7日	安田小学校	6年生	47	13
16	2月7日	中西小学校	6年生	8	6
17	2月8日	益田東高校	2年生	71	30
18	2月8日	都茂小学校	5・6年生	8	5
19	2月9日	吉田南小学校	6年生	36	13
20	2月9日	高津小学校	6年生	66	10
21	2月15日	豊川小学校	5・6年生	14	7
22	2月15日	戸田小学校	5・6年生	17	8
23	2月20日	吉田小学校	6年生	104	15
24	2月21日	益田小学校	6年生	51	15
25	2月21日	真砂小学校	5・6年生	3	7
26	2月22日	東仙道小学校	5・6年生	4	8
27	2月22日	西益田小学校	6年生	31	11
28	2月27日	鎌手小学校	5・6年生	20	11



参加者数の推移（参加者全員の実数）



	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
小学生の受講者数	0人	85人	375人	374人	422人	416人	422人	408人	417人
中高生の受講者数	176人	270人	526人	574人	540人	604人	763人	743人	760人
大人の参加者数（実数）	24人	45人	98人	143人	149人	222人	217人	235人	221人
大人の参加者数（延べ数）	24人	50人	136人	193人	254人	293人	318人	318人	303人
高校生の参加者数（実数）	0人	7人	41人	53人	79人	56人	66人	116人	26人
高校生の参加者数（延べ数）	0人	7人	92人	174人	219人	169人	139人	281人	135人
対話した人数（実数）	200人	407人	1040人	1144人	1190人	1298人	1468人	1502人	1424人

事業成果① 生徒が自分を肯定し、未来へ明るい希望を持てるようになった



成果1

生徒が自分を肯定し、未来へ明るい希望を持てるようになった

カタリ場を通して、自分に本気で向き合い、かつ、将来のことを地域の大人と一緒に考えることで、未来へ明るい希望を持てるようになったのではないかと考えています。

根拠1

→事前アンケートでは「将来に対して、不安がある」と多くの生徒が回答していましたが、事後アンケートでは「将来に対して明るい希望を持っている」と半数以上の生徒が回答しました。

2023年 生徒事前アンケート (回答数696)

将来に対して、不安がある

77%もの生徒が

そう思うと回答

(とてもそう思う196名+ややそう思う340名)

2023年 生徒事後アンケート (回答数591)

カタリ場を通して
「どんな人になりたいか」
考えることができた

92%の生徒が

そう思うと回答

(とてもそう思う285名+ややそう思う261名)

将来に対して
明るい希望を持っている

74%の生徒が

そう思うと回答

(とてもそう思う159名+ややそう思う279名)

事業成果① 生徒が自分を肯定し、未来へ明るい希望を持てるようになった



根拠2

→事後アンケートにおいて、多くの生徒が自己を肯定的に捉える回答をしています。また、「自分によいところがある」と回答した生徒の割合は、ライフキャリア教育の積み重ねにより3年前から大きく増加しました。

2023年

生徒事後アンケート

(回答数591)

自分にはよいところがある

73%の生徒が**そう思う**と回答

(とてもそう思う106名+ややそう思う326名)

何事も前向きに挑戦していきたい

87%の生徒が**そう思う**と回答

(とてもそう思う298名+ややそう思う217名)

自分の可能性を信じることができる

72%の生徒が**そう思う**と回答

(とてもそう思う127名+ややそう思う297名)

自分の気持ち次第で、
置かれている環境をよりよくできる

76%の生徒が**そう思う**と回答

(とてもそう思う274名+ややそう思う277名)

事業成果② 生徒大人ともに益田のまちのイメージが向上した



成果2

生徒大人ともに益田のまちのイメージが向上した

カタリ場で地域の大人と語り合い、自分の地元で活躍している大人と出会うことで、さらに益田のまちへのイメージが高まったと考えています。

根拠1

→ライフキャリア教育の積み重ねにより、この5年間で「益田には魅力的な大人が多い」と回答した生徒の割合が大きく増加しました。

2018年 生徒事前アンケート (回答数536)

益田には魅力的な
大人が多い

43%もの生徒が

そう思うと回答

(とてもそう思う+ややそう思う233名)

2023年 生徒事前アンケート (回答数696)

益田には魅力的な
大人が多い

69%もの生徒が

そう思うと回答

(とてもそう思う139名+ややそう思う340名)

2023年 生徒事後アンケート (回答数591)

益田には魅力的な
大人が多い

80%の生徒が

そう思うと回答

(とてもそう思う200名+
ややそう思う275名) (+37%)

事業成果② カタリ場を通して、生徒大人ともに益田のまちのイメージが向上した



根拠2

→事後アンケートにおいて「益田には魅力的な大人が多い」「これからも益田市で住み続けたい」と回答した大人の割合が増加しました。

2023年

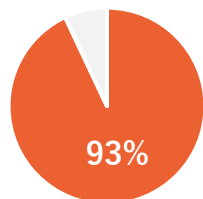
大人事後アンケート

(回答数261)

益田には魅力的な
大人が多い

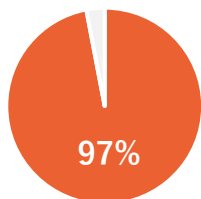
益田市のことが好きだ

これからも益田市で
住み続けたい



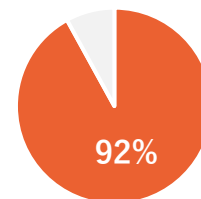
93%の大人が
そう思うと回答

(とてもそう思う134名+ややそう思う109名)



97%の大人が
そう思うと回答

(とてもそう思う120名+ややそう思う133名)



92%の大人が
そう思うと回答

(とてもそう思う115名+ややそう思う126名)

事業成果③

地域の大人と子どもの繋がりを強くして、
地域全体で子どもを育てていく意識の啓発となった



成果3

地域の大人と子どもの繋がりを強くして、
地域全体で子どもを育てていく意識の啓発となった

カタリ場で大人と1対1の対話で肯定や応援の声掛けをされたことで、周囲の人間関係に対しても前向きな見方ができるようになったと推測しています。

根拠1

→事前アンケートでは「あなたのことを応援してくれてる大人が周りにいると感じますか」という質問に「たくさんいる」と回答した生徒の割合が大きく増加しました。

2023年

生徒事前アンケート (回答数696)

あなたのことを応援してくれてる
大人が周りにいると感じますか

41%の生徒が

たくさんいると回答
(たくさんいる284名)

2023年

生徒事後アンケート

(回答数591)

あなたのことを応援してくれてる
大人が周りにいると感じますか

51%の生徒が (+10%)

たくさんいると回答
(たくさんいる299名)

より多くの地域の
大人と話してみたい

79%の生徒が

そう思うと回答
(とてもそう思う164名+ややそう思う304名)

事業成果③

地域の大人と子どもの繋がりを強くして、

地域全体で子どもを育てていく意識の啓発となった



根拠2

→事後アンケートにおいて、ほとんどの大人が「地域活動に積極的に参加したい」「今後も地域の子どもに関わっていききたい」と回答しました。

2023年

大人事前アンケート

(回答数252)

地域の活動に積極的に
参加している

46%の大人が

そう思わないと回答

(全くそう思わない29名+あまりそう思わない87名)

地域の子どもと話す機会が
よくある

56%の大人が

そう思わないと回答

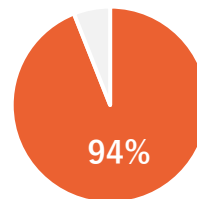
(全くそう思わない47名+あまりそう思わない94名)

2023年

大人事後アンケート

(回答数261)

地域の活動に積極的に
参加しようと思った

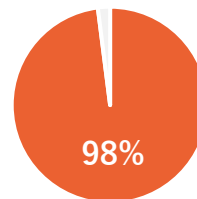


94%の大人が

そう思うと回答

(とてもそう思う104名+ややそう思う141名)

今後も、地域の子どもに
関わっていききたいと思った



98%の大人が

そう思うと回答

(とてもそう思う158名+ややそう思う98名)

事業成果④ 大人にとっても、カタリ場は人や自分自身と向き合う機会となった



成果4

大人にとっても、カタリ場は人や自分自身と向き合う機会となった

カタリ場で生徒に自分の話をしたり、問いかけたりすることが、自分を振り返る機会や人との関わり方を省みる機会に繋がったと考えています。

根拠

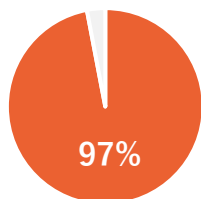
→事後アンケートにおいて、ほとんどの大人がカタリ場を通して「自分自身と向き合うことができた」や「人と向き合う大切さを学んだ」と回答しました。

2023年

大人事後アンケート

(回答数261)

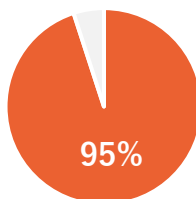
カタリ場を通して自分自身と向き合うことができた



97%もの大人が
そう思うと回答

(とてもそう思う144名+ややそう思う109名)

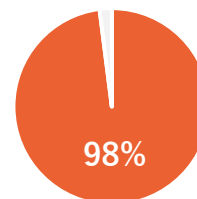
カタリ場は自分自身の成長機会になった



95%の大人が
そう思うと回答

(とてもそう思う150名+ややそう思う97名)

カタリ場を通して人と向き合う大切さを学んだ



98%の大人が
そう思うと回答

(とてもそう思う177名+ややそう思う79名)



総括



- 今年度から新しく益田版カタリ場キャストコミュニティという若手社会人向けのひとつづくり事業を企画し、企業研修の位置付けとしてカタリ場の授業に複数回参加する仕組みをスタートしました。来年度は、事業成果④「大人にとっても、カタリ場は人や自分自身と向き合う機会となった」のような価値創出のために研修の内容の向上に取り組みたいと考えています。
- 上記のキャストコミュニティを通じた企業と連携した集客、つろうて子育て協議会と連携した集客(匹見中カタリ場)や益田版カタリ場公式LINEの立ち上げ、それらを利用した集客など、集客方法の仕組み化の模索を行いました。来年度は、それらの方法をより確立させていきたいと考えています。
- 益田版カタリ場の実施のみでなく、各学校や公民館と連携し、他の学校行事や地域活動と連続してカタリ場を有効活用いただける事例が見られました。特に、明誠高校カタリ場の実施後に、学校外の居場所やコミュニティを体験する目的で実施した「弊社のサードプレイス利用体験」の授業後は、多くの生徒がサードプレイスへ来館し、中にはカタリ場で話した大人と再会する事例も見られました。このことから、来年度は高校との連携をより強め、また、他事業とも連携しながら、授業を受けた生徒が地域での活躍機会や益田暮らしと大人の魅力を知るきっかけとして、弊社のサードプレイスの利用体験の授業を実施して、益田版カタリ場を価値を高めていきたいと考えています。